シラバス参照

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	SCSS2327		
科目名	コーチング基礎演習Ⅱ		
担当教員	原　怜来		
対象学年	2年	開講学期	後期
曜日・時限	火３		
講義室	1205	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード：学修のゴールを示すディプロマポリシー（ＤＰ）との関連 ＤＰ３－Ｇ　〔状況把握力・判断力〕　自らの置かれた状況、及び自己が帰属する 集団の内外の状況を的確に把握し、適切に 対応することができる。 ＤＰ３－Ｈ　〔論理的思考力・批判的思考力〕　理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排 除するための内省をもって、問題・課題を 合理的に解決することができる。 ＤＰ４－Ｆ　〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対す る答・結論・判断を合理的に導くために、 論拠の収集と分析を体系的に行うととも に、オープンエンドな問題・課題に答える ための方略をデザインし、検証し実行する ことができる。 ＤＰ４－Ｉ　〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、 情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効 かつ円滑に行い、課題の解決につなげるこ とができる。 ＤＰ５－Ｊ　〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続し て行うことを、自らの思考及び行動のパ ターンとするとともに、既存のアイデアを 革新的かつ創造的に統合し、リスクをとり ながら、結果に結び付けることができる。 ■ＣＲコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 Ｇ１　状況把握（４０％） Ｆ１　探求と論拠（２０％） Ｆ２　課題解決（２０％） Ｈ１　論理的思考（５％） Ｈ２　批判的思考（５％） Ｉ１　理解分析と読解（５％） Ｊ１　継続的学修基盤（５％）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージと対応 ２進行期～３発展期		
科目概要・キーワード	本演習では、自分の専門種目について実践現場におけるコーチングに関わる諸問題を取り上げ、それらの発生原因や問題解決の方法などについて選手の立場からレポートとしてまとめるとともに、自身の考え方について発表し、議論します。これによって実践現場での問題に関わる問題意識を強めることを目的とします。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード：指導現場、コーチング、選手の立場、問題解決		
授業の趣旨	■副題 実際の指導現場でのコーチングに関する問題について認識し、コーチ・指導者の立場から自身の考えをまとめ、発表・討論します。		

	■授業の目的 　指導現場でのコーチングに関する問題について、コーチ・指導者の立場から自身の考えをまとめ、発表・討論することにより、問題に対する解決方法を提示する能力を身につけることを目的とします。 ■授業のポイント 　近年、コーチング現場における問題が取り上げられ、コーチには諸問題における発生原因の解明や問題解決能力が必要とされています。本授業では、指導者の立場でコーチング現場における課題を抽出し、自分の考えを発表、議論します。このことにより、指導者自身が問題解決できる能力を養うと共に、諸問題が起きないよう未然に防ぐ能力を養います。
総合到達目標	■コーチング能力の向上を図るために、指導者にとって必要な能力を、コーチの視点から考察し、修得する。 ・実際の指導現場に内在するコーチングに関する問題を認識できる。（第2・3・6・9・12回） ・コーチングに関する問題を分析・発表・検討することができる。（第3回～第14回） ・コーチの視点から自分なりの解決方法を論ずることができる。（第2回～第15回）
成績評価方法	■レポート１回（４０%）：適用ルーブリック　Ｈ１・Ｉ１・Ｊ１・Ｊ２ （評価の観点）授業の内容を踏まえて論理立てて明確に自分の考えを示せるかを評価します。 （フィードバックの方法）　授業時間中に解説を行います。 ■リアクションシート（６０%）：適用ルーブリック　Ｇ１・Ｆ２ （評価の観点）授業内で実施する授業シート、及びリアクションシートの内容により授業内容を把握し、建設的な議論ができているかを評価します。 （フィードバックの方法）授業時間中に解説を行います。
履修条件	「コーチング演習Ｉ」を履修していること。
履修上の注意点	特にありません。
授業内容	

回	内容
1	①授業テーマ 　ガイダンス ②授業概要 　授業のテーマ、内容、スケジュール、評価方法、学習および研究方法について説明のうえ、コーチングに関する問題の例を挙げて授業の準備を行う。５名程度のグループをつくり、役割を決めて次回に備える（Ｇ１）。 ③予習（１２０分） 　シラバスの内容を一読し、授業展開に備える。 ④復習（１２０分） 　指導現場でのコーチングに関する問題を選手の立場から考える。
2	①授業テーマ 　スポーツの指導現場における問題の設定 ②授業概要 　コーチングの基礎知識を学習し、本授業で取り上げるスポーツの指導現場における問題点を列挙し、発表できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。 ③予習（１２０分） 　指導現場でのコーチングに関する問題を選手の立場から５項目以上挙げ、それらの発生原因を調べておく。 ④復習（１２０分） 　授業内で発表された問題について、その発生原因を調べて解決策を考える。
3	①授業テーマ 　スポーツの指導現場における問題①ブレインストーミング（仮説立て） ②授業概要 　提示された指導現場における問題点について、各グループでブレインストーミングにより一般的な問題から各自の専門種目における問題までを最大限列挙し、重みづけをしたうえでグループ内で共有する。共有された情報を元に、問題点における解決策の仮説を立てることができる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。 ③予習（１２０分） 　指導現場でのコーチングに関する問題を選手の立場から５項目以上挙げ、それらの発生原因を調べておく。 ④復習（１２０分） 　各グループで設定した解決策の仮説について考える。
4	①授業テーマ 　スポーツの指導現場における問題①ブレインストーミング（結論付け・発表準備） ②授業概要

	提示された指導現場における問題点について、各グループで立てた仮説をブレインストーミングにより検証し、グループにおける結論をまとめる。また、次週に授業で共有できるよう発表準備を行うことができる（G１・F１・F２・H１・H２・I１・J１）。 ③予習（１２０分） グループで立てた仮説について、建設的な議論ができるように振り返っておく。 ④復習（１２０分） 次週他グループと共有できるよう発表練習を行う。
5	①授業テーマ スポーツの指導現場における問題①発表 ②授業概要 実際の指導現場を想定し、問題に対する適切な解決策について選手の立場からグループでの考え方を発表する。また、他のグループの意見を聞き、自身の考え方をまとめることができるG１・F１・F２・H１・H２・I１・J１）。 ③予習（１２０分） 問題に対する適切な解決策を発表するための準備をしておく。 ④復習（１２０分） 議論を踏まえ、より適切な解決策の改善に備える。
6	①授業テーマ スポーツの指導現場における問題②ブレインストーミング（仮説立て） ②授業概要 提示された指導現場における問題点について、各グループでブレインストーミングにより一般的な問題から各自の専門種目における問題までを最大限列挙し、重みづけをしたうえでグループ内で共有する。共有された情報を元に、問題点における解決策の仮説を立てることができる（G１・F１・F２・H１・H２・I１・J１）。 ③予習（１２０分） 指導現場でのコーチングに関する問題を選手の立場から５項目以上挙げ、それらの発生原因を調べておく。 ④復習（１２０分） 各グループで設定した解決策の仮説について考える。
7	①授業テーマ スポーツの指導現場における問題②ブレインストーミング（結論付け・発表準備） ②授業概要 提示された指導現場における問題点について、各グループで立てた仮説をブレインストーミングにより検証し、グループにおける結論をまとめる。また、次週に授業で共有できるよう発表準備を行うことができる（G１・F１・F２・H１・H２・I１・J１）。 ③予習（１２０分） グループで立てた仮説について、建設的な議論ができるように振り返っておく。 ④復習（１２０分） 次週他グループと共有できるよう発表練習を行う。
8	①授業テーマ スポーツの指導現場における問題②発表 ②授業概要 実際の指導現場を想定し、問題に対する適切な解決策について選手の立場からグループでの考え方を発表する。また、他のグループの意見を聞き、自身の考え方をまとめることができる（G１・F１・F２・H１・H２・I１・J１）。 ③予習（１２０分） 問題に対する適切な解決策を発表するための準備をしておく。 ④復習（１２０分） 議論を踏まえ、より適切な解決策の改善に備える。
9	①授業テーマ スポーツの指導現場における問題③ブレインストーミング（仮説立て） ②授業概要 提示された指導現場における問題点について、各グループでブレインストーミングにより一般的な問題から各自の専門種目における問題までを最大限列挙し、重みづけをしたうえでグループ内で共有する。共有された情報を元に、問題点における解決策の仮説を立てることができる（G１・F１・F２・H１・H２・I１・J１）。 ③予習（１２０分） 指導現場でのコーチングに関する問題を選手の立場から５項目以上挙げ、それらの発生原因を調べておく。 ④復習（１２０分） 各グループで設定した解決策の仮説について考える。

	10	①授業テーマ 　スポーツの指導現場における問題③ブレインストーミング（結論付け・発表準備） ②授業概要 　提示された指導現場における問題点について、各グループで立てた仮説をブレインストーミングにより検証し、グループにおける結論をまとめる。また、次週に授業で共有できるよう発表準備を行うことができる（Ｇ１・Ｆ１・Ｆ２・Ｈ１・Ｈ２・Ｉ１・Ｊ１）。 ③予習（１２０分） 　グループで立てた仮説について、建設的な議論ができるように振り返っておく。 ④復習（１２０分） 　次週他グループと共有できるよう発表練習を行う。
	11	①授業テーマ 　スポーツの指導現場における問題③発表 ②授業概要 　実際の指導現場を想定し、問題に対する適切な解決策について選手の立場からグループでの考え方を発表する。また、他のグループの意見を聞き、自身の考え方をまとめることができる（Ｇ１・Ｆ１・Ｆ２・Ｈ１・Ｈ２・Ｉ１・Ｊ１）。 ③予習（１２０分） 　問題に対する適切な解決策を発表するための準備をしておく。 ④復習（１２０分） 　議論を踏まえ、より適切な解決策の改善に備える。
	12	①授業テーマ 　スポーツの指導現場における問題④ブレインストーミング（仮説立て） ②授業概要 　提示された指導現場における問題点について、各グループでブレインストーミングにより一般的な問題から各自の専門種目における問題までを最大限列挙し、重みづけをしたうえでグループ内で共有する。共有された情報を元に、問題点における解決策の仮説を立てることができる（Ｇ１・Ｆ１・Ｆ２・Ｈ１・Ｈ２・Ｉ１・Ｊ１）。 ③予習（１２０分） 　指導現場でのコーチングに関する問題を選手の立場から５項目以上挙げ、それらの発生原因を調べておく。 ④復習（１２０分） 　各グループで設定した解決策の仮説について考える。
	13	①授業テーマ 　スポーツの指導現場における問題④ブレインストーミング（結論付け・発表準備） ②授業概要 　提示された指導現場における問題点について、各グループで立てた仮説をブレインストーミングにより検証し、グループにおける結論をまとめる。また、次週に授業で共有できるよう発表準備を行うことができる（Ｇ１・Ｆ１・Ｆ２・Ｈ１・Ｈ２・Ｉ１・Ｊ１）。 ③予習（１２０分） 　グループで立てた仮説について、建設的な議論ができるように振り返っておく。 ④復習（１２０分） 　次週他グループと共有できるよう発表練習を行う。
	14	①授業テーマ 　スポーツの指導現場における問題④発表 ②授業概要 　実際の指導現場を想定し、問題に対する適切な解決策について選手の立場からグループでの考え方を発表する。また、他のグループの意見を聞き、自身の考え方をまとめることができる（Ｇ１・Ｆ１・Ｆ２・Ｈ１・Ｈ２・Ｉ１・Ｊ１）。 ③予習（１２０分） 　問題に対する適切な解決策を発表するための準備をしておく。 ④復習（１２０分） 　議論を踏まえ、より適切な解決策の改善に備える。
	15	①授業テーマ 　まとめ ②授業概要 　実際の指導現場を想定し、コーチ・指導者の立場から実践した一連の問題の選択、分析、発表、改善について振り返るとともに総括することができる（Ｇ１・Ｆ１・Ｆ２・Ｈ１・Ｈ２・Ｉ１・Ｊ１）。レポート課題のフィードバックは提出後に授業時間内に行います。 ③予習（１２０分） 　これまでの授業シートをまとめておく。

	④復習（１２０分） 本授業でのコーチング現場における諸問題に対する解決策をまとめておく。
関連科目	「コーチング学研究法演習　SSCS 2317」（2年次後期配当）および「コーチング演習Ⅱ　SSCS 2327」（2年次後期配当）は、本講と密接に関係します。
教科書	特にありません。
参考書・参考ＵＲＬ	特にありません。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。
研究比率	

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.